

帰省や旅行で高速道路をつかう場合は、  
事前に渋滞ピークを避けて快適なドライブを。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



公園から自転車が・・・



この映像の訴求ポイントは…

- ◎信号のない横断歩道の通過は徐行が鉄則！
- ◎子供がいそうな施設の近くは、ゆっくり走りましょうね。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



雨の早朝、高速道路にて



この映像の訴求ポイントは…

- ◎シートベルトやチャイルドシートを正しく装着しましょう。
- ◎制限速度を守っての安全運転が結果として一番の近道です。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



メリハリのある運転を！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎理由もなく停車したり、ウロウロする車はいません。
- ◎その不審な動きの車の前には何かがあるのかも。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



事故です！・・・が・・・



この映像の訴求ポイントは…

- ◎高速道路で車が停止したらすぐにガードレールの外側に避難！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



高速道路の車線変更に注意



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車線変更時は、必ず顔を動かして目視で確認を！
- ◎相手の死角に入らない運転を心がけましょう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---

## 【コラム】お盆で帰省…長距離ドライブで気をつけることは？

夏の行楽シーズン、旅行や帰省で高速道路をつかって長距離をドライブされる方も多いかと思います。今回は長距離ドライブのトラブル防止についておさらいしましょう。

高速道路のトラブルで多いのが、1) タイヤのパンク、2) 燃料切れ、3) バッテリー上がり、です。

まずタイヤのパンク。空気圧が不足していたり、キズなどが原因で、高速走行中にバースト（破裂）してしまう事例が少なくありません。出発前に、タイヤの溝に異物が挟まっていないか、キズがないか、空気圧は適正か、タイヤをチェックしましょう。空気圧はほとんどのガソリンスタンドで計ることができます。

次に燃料切れ。予期せぬ渋滞やトラブルに巻き込まれたり、地方ではガソリンスタンドの数が減っていて、思うように給油ができないことも起こります。燃料計が半分を切る頃を目安に、早めの給油を心がけましょう。セルフスタンドを利用する場合は軽油とガソリン（レギュラー／ハイオク）の違いにもご注意を。

バッテリー上がりの原因は、ライトなどの消し忘れやバッテリー自体の劣化など原因は様々です。出発前にはバッテリーのチェックを。また、行楽シーズンでは、渋滞などで停車や低速走行が長時間続くと、エンジンによる発電量よりもエアコンやライトなどの電力使用量が上回ってしまうこともあります。エアコン、ライト、ワイパー、オーディオなど、同時に使う場合は不要なものをこまめに消すようにしましょう。

最後に、もし不運にも高速道路でトラブル発生により車が停まってしまった場合は、すぐに乗員全員が路肩にあるガードレールの外側に避難しましょう。停車車両に後続車が追突し、大惨事に至る事故が起きています。まずは自分たちの安全を確保した上で、必要な措置（表示板・発炎筒の設置、通報や救援のための電話連絡）を講じましょう。



万が一、高速道路でトラブルが発生し、停車を余儀なくされたら、車を路側帯に止め、ハザードランプを点滅させて、すぐにガードレールの外側に避難しましょう（車外に出るときは必ず助手席側から出ます）。後続車のために、三角表示板や発炎筒を設置します。同乗者がいる場合は、後続車対応と通報・救援の連絡を分担して行ってください。